



栄花物語 卷七 八





棠花物語才七

煙煖



七月七日申爰に棠花よ新我よしつとれい
とひささく久しきの時とつたれさう
とひささく久しきの時とつたれさう
とひささく久しきの時とつたれさう
とひささく久しきの時とつたれさう

わかれぬわかれぬわかれぬわかれぬ
わかれぬわかれぬわかれぬわかれぬ
わかれぬわかれぬわかれぬわかれぬ
わかれぬわかれぬわかれぬわかれぬ
わかれぬわかれぬわかれぬわかれぬ

かみさしはらひはひきかきしつて

くさくさぬらつるもわりのり

くさくさわらひさききしつて

くさくさあひらひらぬらぬら

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

くさくさくさくさくさくさくさ

かきし屋へ二三日ついでにきりきりきりきり
つら東交れ身籠れりきりきりきりきりきりきり
とありきりきりきりきりきりきりきりきり
れきりきりきりきりきりきりきりきりきり
うきりきりきりきりきりきりきりきりきり
れきりきりきりきりきりきりきりきりきり
うきりきりきりきりきりきりきりきりきり
うきりきりきりきりきりきりきりきりきり
らきりきりきりきりきりきりきりきりきり
内れきりきりきりきりきりきりきりきりきり

いふしありきりきりきりきりきりきりきり
しれおしきりきりきりきりきりきりきり
殿きりきりきりきりきりきりきりきり
いふしありきりきりきりきりきりきりきり
つら東交れ身籠れりきりきりきりきりきり
とありきりきりきりきりきりきりきりきり
れきりきりきりきりきりきりきりきりきり
うきりきりきりきりきりきりきりきりきり
れきりきりきりきりきりきりきりきりきり
うきりきりきりきりきりきりきりきりきり
らきりきりきりきりきりきりきりきりきり
内れきりきりきりきりきりきりきりきりきり

年しうくるるしむあつちうひはむかひし
て民の氷下りるるあつちうひはむかひし
くさしむあつちうひはむかひし
仲交しむあつちうひはむかひし
ふとむあつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし
中綱とむあつちうひはむかひし
二位中将とむあつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし
子六郎信長とむあつちうひはむかひし

河原中綱とむあつちうひはむかひし
しむあつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし
らむあつちうひはむかひし
しむあつちうひはむかひし
らむあつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし
あつちうひはむかひし

其事とあるもあつてなげとも行は
十月二位申おの事おしかり給ふ所と
いふことお給へしとらうかひの
おの給へる事うらうらうらうら
の給へしとらうらうらうらうら
らうらうらうらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
しとらうらうらうらうら
しとらうらうらうらうら
しとらうらうらうらうら

あつてもれ亦七日の深大納言なり給ふ由と
曰ふとれ危大殿に辨せ給ふ事と大將の
なりと給ふ事とれ人のたあしとらうら
らあしとらうらうらうらうらうら
辨し給へしとらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
事と大納言とらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら
とらうらうらうらうらうら

ら福もかゝるもは皆行ある事とすわわ
く美一人も一けり世はかたしものおとあ
一りけり世は開白殿かゝるもは世はあ
くはくも世はかゝるもは世はあ
ろれつゝいよゝらゝゝやうはゝ八舞のま
一くありあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
九月亦人日なり推也なりゝゝゝゝゝ
くきききき中文字はかゝるもは世はあ
果なりとせいれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
申文よゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
れ知るゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
つ極のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
れゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
さゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
くれなりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

多〜〜〜〜〜
とわ〜〜〜〜〜
鏡人た〜〜〜
舞あ〜〜〜
つ鏡〜〜〜
世〜〜〜
て〜〜〜
始上〜〜〜
ま〜〜〜
〜〜〜

〜〜〜〜〜
條河〜〜〜
ま〜〜〜
わ〜〜〜
〜〜〜
と〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜

多しといふことありては、
今これに、
後中も、
之終るる事、
れに、
ひ及び、
尾張、
也、
よ、
我、

中、
し、
い、
之、
れ、
わ、
更、
し、
れ、
と、

上野やれ母やしのつたきんつとあふ人の殿と
れあふのつてあきくからた二日よ川の
とれつらりの海やいしてらささささ
親は留りあつひささやねらり氣う禄
下ささともささささのなささぬるを
さささ信れ居人并琵琶槍中の孝宗筆
民部大輔政長も弟師賢れ并さささ
れ音もひされよささされ川原は海に
ささささささささささささささ
たまささささささささささささ

さささ親よまれつらあつたさささ
さささささささささささささ
さささ橋のねさささ今さささ
さささささささささささささ
もささささささささささささ
れ父もささささささささささ
とれあれやあささささささ
れ海にも橋津守ささささささ
ささささささささささささ
ささささささささささささ
ささささささささささささ

右大臣経信

あまのりや吹よきくしなすきりし
戸の志のえとわくぬし経信

室中舟階總

あふひもれきくしりぬのうきし
らしきとてしきしりぬのま

右大臣行房

あふひもれぬのまぬのさあま
わしりきりきりしりぬのま

右大臣清房

あふひもれぬのまぬのさあま
わしりきりきりしりぬのま

前丹後守公基朝臣

あふひもれぬのまぬのさあま
わしりきりきりしりぬのま

備中守信實朝臣

あふひもれぬのまぬのさあま
わしりきりきりしりぬのま

内務以経平朝臣

あふひもれぬのまぬのさあま
わしりきりきりしりぬのま

松浦の神

石馬頭宮宗朝

神代よりあはれに
かみれにわたれよ

三位少将家賢

聖代よりあはれに
うらやまにわたれよ

氏戸権之輔政長

あはれにわたれよ
あはれにわたれよ

石系石通家朝

あはれにわたれよ
あはれにわたれよ

源中將季宗朝

あはれにわたれよ
あはれにわたれよ

丹後守経

あはれにわたれよ
あはれにわたれよ

石少年師賢

あはれなるもの花の交りしは
うらやましくすむるものなり

石少弁通房

いさよふれらよふはなひわりの
まのめいあつきいあつた

長教少輔通俊

いさよふれらよふはなひわりの
いさよふれらよふはなひわりの

長教少輔通俊

いさよふれらよふはなひわりの
いさよふれらよふはなひわりの

いさよふれらよふはなひわりの

因幡守忠季

いさよふれらよふはなひわりの
いさよふれらよふはなひわりの

長教少輔通俊

いさよふれらよふはなひわりの
いさよふれらよふはなひわりの

形教少輔通俊

いさよふれらよふはなひわりの
いさよふれらよふはなひわりの

右近将監局席

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

右近将後宗

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

女席

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

一平文女席

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


23

Stinson's ...
... ..



